

黙示録が記す、最悪の「ラオディキア教会」

ヨハネの黙示録（イオーアンネースの啓示）には、七つの教会が登場します。①エフェソにある教会（2：1）、②スミルナにある教会（2：8）、③ペルガモンにある教会（2：12）、④ティアティラにある教会（2：18）、⑤サルディスにある教会（3：1）、⑥フィラデルフィアにある教会（3：7）、そして⑦ラオディキアにある教会です。

その七つの教会で、最悪の教会とされるのは、「ラオディキアにある教会」です。この教会については、黙示録3章14～22節に記されています。ここで、イエス・キリストは「ラオディキアの教会」に対して厳しい叱責をしています。まず、この教会は自己満足的であったとしています。教会のメンバーたちは、豊かになることに熱心であったが、霊的貧困に陥っており、不幸で貧しく、盲目で、裸であることに気づいていない、そして神に対する愛や信仰が欠けていると叱責しています。自己評価が高く、自分たちが偉大であると思いついでいたことも示唆しています。

また一方で、「ラオディキアの教会」に向けて、「熱意をもって悔い改め、戒めを聞き入れ、それを守る者には、天に開かれた戸をくぐらせ、彼らはその中にいる神と共に食事をする事ができる」という約束が与えられています。そして、悔い改めに応じる者には祝福が約束されていますが、戒めを聞き入れずにそのまま放置していると、イエス・キリストから断罪されるとも警告されています。

ヨハネの黙示録3：20の「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう」という言葉は、信仰者たちが悔い改めて、神に立ち帰るように語ったもので、彼らが心を開いてキリストを受け入れるようにと呼びかけています。キリストのノックを聞いた信仰者たちは、自分たちの心の扉を開いてキリストを迎え入れることが大切です。

また、この言葉は、キリストが信仰者たちと共に食事をする事を約束しています。これは、キリストが信仰者たちとの親密な関係を求めていることを示しています。この言葉は、信仰者たちにとって非常に励みとなるものであり、キリストとの関係を深めることができるきっかけとなるものです。私たち信仰者は、キリストとの関係を築き、彼と一緒に食事をする事で、永遠の命を受けることができるのです。

ヨハネの黙示録3：14～22

この黙示は、すぐにも起こるはずのことを、神がその僕たちに示すためキリストにお与えになり、そして、キリストがその天使を送って僕ヨハネにお伝えになった。

ラオディキアにある教会の天使にこう書き送れ。

『アーメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方が、次のように言われる。

「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。あなたは、『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっていない。

そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買いがよい。

わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。

見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように。

耳ある者は、“霊”が諸教会に告げることを聞くがよい。』

【参考】ラオディキアにある教会に宛あてた手紙

エフェソにある教会(2:1)→スミルナにある教会(2:8)→ペルガモンにある教会(2:12)→ティアティラにある教会(2:18)→サルディスにある教会(3:1)→フィラデルフィアにある教会(3:7)→ラオディキアにある教会

3:14 **ラオディキアにある教会の天使**に、こう書き送れ。『アーメンである方 (→黙示録のみの表記で、真実な方、信頼に値する方)、忠実誠実で真実な証人、神に造られたものの創造された万物の源である (→天地創造の前から存在しておられた) 方が、こう次のように言われる。

ラオディキアにある教会の(保護)天使に書き送れ。アーメンである者、忠実で真実な証人、神の創造の本源である者が次のようにいう(希和对訳脚注つき 13 ヨハネ黙示録 岩隈 直 山本書店、以下同)。

▶ラオディキア(「人々の権利」という意味、Laos:一般人+Decea:習慣、意思)は、BC 3世紀にシリアのアンティオコス二世(在位:BC261~246)が建設した小アジア西方の重要な町(現在のトルコ共和国デニズリ県エスキー・ヒサル村)で妻(王妃)のラオディケにちなんで町の名を付けた。金融や衣類、絨毯、黒い羊毛などの紡績、目薬(フリギアの粉末?と油を混ぜた目の軟膏)で有名な町であった。ペルガモンと同じく、エスクラピウス神殿があった(→2:12)。この町は裕福で、AD60年頃に地震でひどい損害を被った時、住民はローマからの援助を受けることなく町を再建した。市民は誇り高く富み栄えていたが、ついにこの町は廃墟となり、今は劇場と水路と競技場等の遺跡があるだけである。パウロの友人(同労者)エパfras Epaphras(コロサイの信徒への手紙1:7、4:12、フィレモンへの手紙1:23)が教会の基礎を築いた。

→ラオディキアの独立自存の歩みと生ぬるい態度は、実に私たち自身の今の状態である。私たちは、今まで経験したことのないような政治的、宗教的、世俗的激変の状態に直面しており、ラオディキアの教会へのイエス・キリストの警告は、正に地上の歴史の終末時代に生存している私たちへのメッセージである。

3:14(01)	και	カイ	そして	接続詞
3:14(02)	τω	トオウ	それに	定冠詞・与格・単数・男性
3:14(03)	αγγελω	アングロウ	天使に	名詞・与格・単数・男性
3:14(04)	της	テイス	その	定冠詞・属格・単数・女性
3:14(05)	εν	エン	~[に]おける	前置詞
3:14(06)	λαοδικεια	ラオディケイア	ラオディキア=その人々の正義=に	名詞・与格・単数・女性
3:14(07)	εκκλησιας	エクレシヤス	教会の	名詞・属格・単数・女性
3:14(08)	γραψον	グラブソン	[あなたは]書きなさい	動詞・アオリスト・能動・命令・二人称・単数
3:14(09)	ταδε	タデ	これらのことを	指示代名詞・対格・複数・中性
3:14(10)	λεγει	レゲイ	[彼が]言います	動詞・現在・能動・叙実・三人称・単数
3:14(11)	ο	オ	それが	定冠詞・主格・単数・男性
3:14(12)	αμην	アメン	アーメン(真である者が)	ヘブライ語字訳
3:14(13)	ο	オ	それが	定冠詞・主格・単数・男性
3:14(14)	μαρτυς	マルトウス	証人が	名詞・主格・単数・男性
3:14(15)	ο	オ	それが	定冠詞・主格・単数・男性
3:14(16)	πιστος	ピストス	忠実な[者が]	形容詞・主格・単数・男性
3:14(17)	και	カイ	そして	接続詞
3:14(18)	[ο]	オ	それが	定冠詞・主格・単数・男性
3:14(19)	αληθινος	アレシノス	真実の[者が]	形容詞・主格・単数・男性
3:14(20)	η	エイ	それが	定冠詞・主格・単数・女性
3:14(21)	αρχη	アルケイ	初め(である者)が	名詞・主格・単数・女性
3:14(22)	της	テイス	その	定冠詞・属格・単数・女性
3:14(23)	κτισεως	クティセオウス	創造の	名詞・属格・単数・女性
3:14(24)	του	トウ	その	定冠詞・属格・単数・男性
3:14(25)	θεου	ゼウ	神の	名詞・属格・単数・男性

3:15 「私はあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、~~どちらか~~であってほしい。 ←**叱責**

『私は君のわざを、君が冷たくもなく熱くもないことを知っている。君が冷たいか熱いかであればよいのに。』

▶イエス・キリストにとっては受け入れがたい教会（靈的に危険な生ぬるい状態）であった。
→ラオディキアは水資源に乏しく、コロサイの冷たい山水やヒエラポリスからの熱い温泉水も引いていたが、どちらも町に送られてくる頃には、生ぬるくなっていた（参照：P.81 イメージ図）。

▶冷たい：信仰に無関心な状態、熱い：信仰に熱心な状態

3:15(01)	οιδα	オイダ	[私は]知っています	動詞・完了・能動・叙実・一人称・単数
3:15(02)	σου	スー	あなたの	人称代名詞・二人称・属格・単数
3:15(03)	τα	タ	それらを	定冠詞・対格・複数・中性
3:15(04)	εργα	エルガ	諸々の業を	名詞・対格・複数・中性
3:15(05)	οτι	オティ	それは～こと	接続詞
3:15(06)	ουτε	ウーテ	～こともない	接続詞
3:15(07)	ψυχρος	ブシュクロス	冷たい[もの]	形容詞・主格・単数・男性
3:15(08)	ει	エイ	[あなたは]～である	動詞・現在・無態・叙実・二人称・単数
3:15(09)	ουτε	ウーテ	～こともない	接続詞
3:15(10)	ζεστος	ゼストス	熱い[もの]	形容詞・主格・単数・男性
3:15(11)	οφελον	オフエロン	[私は]～ほしい	間投詞
3:15(12)	ψυχρος	ブシュクロス	冷たい[もの]	形容詞・主格・単数・男性
3:15(13)	ης	エイ	[あなたは]～であって	動詞・現在・無態・假定・二人称・単数
3:15(14)	η	エイ	あるいは	離接助詞
3:15(15)	ζεστος	ゼストス	熱い[もの]	形容詞・主格・単数・男性

3:16 熱くも冷たくもなく、~~生温な~~なまぬるい（→この世と妥協し、キリストから離れている状態）ので、私はあなたを口から吐き出そうとしている。 ←**叱責**

それで、君がなまぬるくて、熱くも冷たくもないから、私は君を私の口から吐き出そうとしている。

▶花婿にとって、なまぬるい教会、なまぬるい信仰は、吐き気をもよおすほど、嫌いなのである。

3:16(01)	ουτως	ウートオウス	そのように	副詞
3:16(02)	οτι	オティ	それは～から	接続詞
3:16(03)	χλιαρος	クリアロス	生温い[もの]	形容詞・主格・単数・男性
3:16(04)	ει	エイ	あなた～である	動詞・現在・無態・叙実・二人称・単数
3:16(05)	και	カイ	そして	接続詞
3:16(06)	ουτε	ウーテ	～こともない	接続詞
3:16(07)	ζεστος	ゼストス	熱い[もの]	形容詞・主格・単数・男性
3:16(08)	ουτε	ウーテ	～こともない	接続詞
3:16(09)	ψυχρος	ブシュクロス	冷たい[もの]	形容詞・主格・単数・男性
3:16(10)	μελλω	メロウ	[私は]～しようとしています	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
3:16(11)	σε	セ	あなたを	人称代名詞・二人称・対格・単数
3:16(12)	εμεσαι	エメサイ	吐き出すこと	動詞・アオリスト・能動・不定詞
3:16(13)	εκ	エク	～[の]中から	前置詞
3:16(14)	του	トゥー	その	定冠詞・属格・単数・中性
3:16(15)	στοματος	ストマトス	口の	名詞・属格・単数・中性
3:16(16)	μου	ムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数

3:17 あなたは、『私は**裕福で、金持ちだ。**満ち足りており、~~いる。~~何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっていない。

←**叱責**

君が、“私は富んでいる、富める者になった、何も不足していない”と言っている、が（実は）君はみじめで、憐れむべき者で、貧しく、盲目で裸であることを知らないから、

▶**私は裕福で、金持ちだ**：これは、スミルナの貧しいキリスト者に対する言葉と逆である（2：9）。自己満足し、自分には「乏しいものはなにもない」と言っているところに、大きな、かつ悲しい現実があることを花婿であるイエス・キリストは語っておられる。平穩無事（？）に慣れて、信仰生活が弛緩し、緊張感がなくなり、活性さも失われて、ただ惰性で生きている。それは死んだ教会、あるいは、死んだ信者と言われても仕方ない。「口から吐き出す」（3：16）とはかなり厳しい言葉ですが、そこには、「惰性で生きるのではなく、もっと熱くなって、篤い（熱い）信仰生活を取り戻せ」というメッセージが込められている。惰性的な、自己満足の教会は、花婿から見れば、極めて憐れ（哀れ）で惨めな教会なのである。

3:17(01)	οτι	オティ	それは～から	接続詞
3:17(02)	λεγεις	レゲイス	[あなたは]言う	動詞・現在・能動・叙実・二人称・単数
3:17(03)	οτι	オティ	それは～こと	接続詞
3:17(04)	πλουσιος	ブルーシオス	金持の[者]	形容詞・主格・単数・男性
3:17(05)	ειμι	エイミ	[私は]～である	動詞・現在・無態・叙実・一人称・単数
3:17(06)	και	カイ	そして	接続詞
3:17(07)	πεπλουτηκα	ペブルテェイカ	[私は]豊かになった	動詞・完了・能動・叙実・一人称・単数
3:17(08)	και	カイ	そして	接続詞
3:17(09)	ουδεν	ウデーン	何一つない[ものを]	形容詞・対格・単数・中性
3:17(10)	χρειαν	クレイアン	不足を	名詞・対格・単数・女性
3:17(11)	εχω	エコウ	[私は]持っている	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
3:17(12)	και	カイ	しかし	接続詞
3:17(13)	ουκ	ウーク	～ことはありません	離接助詞・否定
3:17(14)	οιδας	オイダス	[あなたは]知っている	動詞・完了・能動・叙実・二人称・単数
3:17(15)	οτι	オティ	それは～こと	接続詞
3:17(16)	συ	ス	あなたは	人称代名詞・二人称・主格・単数
3:17(17)	ει	エイ	[あなたは]～である	動詞・現在・無態・叙実・二人称・単数
3:17(18)	ο	オ	それは	定冠詞・主格・単数・男性
3:17(19)	ταλαιπωρος	タライポウロス	惨めな[者]	形容詞・主格・単数・男性
3:17(20)	και	カイ	そして	接続詞
3:17(21)	ελεινος	エレイノス	不幸な[者]	形容詞・主格・単数・男性
3:17(22)	και	カイ	そして	接続詞
3:17(23)	πτωχος	プトオウコス	貧しい[者]	形容詞・主格・単数・男性
3:17(24)	και	カイ	そして	接続詞
3:17(25)	τυφλος	トゥフロス	盲の[者]	形容詞・主格・単数・男性
3:17(26)	και	カイ	そして	接続詞
3:17(27)	γυμνος	ゲムノス	裸の[者]	形容詞・主格・単数・男性

ラオディキアの教会は信仰の生ぬるい、賞賛されるものが何一つない墮落した最悪の教会だった。

【一言】「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば」(藤原道長)

平安貴族の頂点、関白として栄華を極めた藤原道長ですが、この時すでに体は重い病（糖尿病、心臓系の病など）に侵されていました。病を知った道長は剃髪して出家したが、10年もしないうちに、病没。

3:18 そこで、あなたに勧める。(あなたが本当の意味において) 豊か裕福になるように、火 (→試練) で精錬された金 (→霊的な富=本物の信仰と愛) を私から買う (→受け取る) がよい。自分の裸の恥をさらさないように、身にまとう着ける白い衣 (→信仰によって義とされ、救われていることの象徴) を買い、また、見えるようになるために目に塗る薬 (→善悪を識別し、あらゆる見せかけの中にある罪を見破る力を与える知恵と恵み) を買うがよい。←奨励

私は君に、富むために、私から火で精錬された金を買い、着て君の裸の恥が現れないために白い着物を買、見えるために目に軟膏を塗りこむように勧告する。

▶ペトロの手紙一 1:7

あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエス・キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。

→人生における敗北、苦しみは 試練であり、不幸ではない。

灼熱の炎に磨かれる黄金のように 試練によってこそ、人は高められる。(大友宗麟)

大友宗麟(義鎮)は、戦国時代から安土桃山時代にかけての武将、戦国大名、キリシタン大名。大友氏 21 代当主(豊後の国:大分県)。最初は禅宗に帰依していたが後にキリスト教への関心を強め、ついに自ら洗礼を受けた。

3:18(01)	συμβουλευω	スムブルーオーウ	[私は]勧めます	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
3:18(02)	σοι	ソイ	あなたに	人称代名詞・二人称・与格・単数
3:18(03)	αγορασαι	アゴラサイ	買うことを	動詞・アオリスト・能動・不定詞
3:18(04)	παρ	パル	~[の]許から	前置詞
3:18(05)	εμου	エムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
3:18(06)	χρυσιον	クルシオン	金を	名詞・対格・単数・中性
3:18(07)	πεπυρωμενον	ペプロウメノン	製錬された[ものを]	動詞・完了・受動・分詞・対格・単数・中性
3:18(08)	εκ	エク	~[の]中で	前置詞
3:18(09)	πυρος	プロス	火の	名詞・属格・単数・中性
3:18(10)	ινα	イナ	それは~ため	接続詞
3:18(11)	πλουτησης	ブルーティエイセイス	[あなたが]豊かになろうとする	動詞・アオリスト・能動・仮定・二人称・単数
3:18(12)	και	カイ	そして	接続詞
3:18(13)	ιματια	イマティア	衣類を	名詞・対格・複数・中性
3:18(14)	λευκα	リューカ	白い[諸々のものを]	形容詞・対格・複数・中性
3:18(15)	ινα	イナ	それは~ため	接続詞
3:18(16)	περιβαλη	ペリバレイ	[あなたが]身を纏おうとする	動詞・第二アオリスト・中間態・仮定・二人称・単数
3:18(17)	και	カイ	そして	接続詞
3:18(18)	μη	メイ	~ことはない	離接助詞・否定
3:18(19)	φανερωθη	ファネロウセイ	[それが]明らかにされようとする	動詞・アオリスト・受動・仮定・三人称・単数
3:18(20)	η	エイ	それは	定冠詞・主格・単数・女性
3:18(21)	αισχυνη	アイスクネイ	恥が	名詞・主格・単数・女性
3:18(22)	της	ティイス	その	定冠詞・属格・単数・女性
3:18(23)	γυμνοτητος	グムノティイトス	裸の	名詞・属格・単数・女性
3:18(24)	σου	スー	あなたの	人称代名詞・二人称・属格・単数
3:18(25)	και	カイ	そして	接続詞
3:18(26)	κολλουριον	コッルーリオン	眼軟膏を	名詞・対格・単数・中性
3:18(27)	εγχρισαι	エンクリサイ	塗るため	動詞・アオリスト・能動・不定詞
3:18(28)	τους	トゥース	それらに	定冠詞・対格・複数・男性
3:18(29)	οφθαλμους	オフサルムース	両目に	名詞・対格・複数・男性
3:18(30)	σου	スー	あなたの	人称代名詞・二人称・属格・単数
3:18(31)	ινα	イナ	それは~ため	接続詞
3:18(32)	βλεπης	ブレベイス	[あなたが]見えるようになる	動詞・現在・能動・仮定・二人称・単数

3:19 私は愛する者を責め、皆、叱つたり、鍛錬鍛えたりする。それゆえだから、熱心であれに努めよ。そして悔い改めよ。←**奨励**

私は愛する者をみな叱り懲らしめる。だから熱心になり、悔改めよ。

▶私は愛する者を責め、皆、叱つたり、鍛錬鍛えたりする：鍛錬は神の愛のしるしである。

→神の愛を表す「アガペー」ではなく、例外的に人の愛の感情を表す「フィロウ」が用いられている。

♥ギリシア語には「愛」を表現する言葉が四つあり、アガペー（自己犠牲的な愛）、フィリア（隣人愛）、エロース（性愛）、ストルゲー（家族愛）である。

→かわいい息子を懲らしめる父のように／主は愛する者を懲らしめられる。（箴言3：12）

→あなたがたは、これを鍛錬として忍耐しなさい。神は、あなたがたを子として取り扱っておられます。いったい、父から鍛えられない子があるのでしょうか。もしだれもが受ける鍛錬を受けていないとすれば、それこそ、あなたがたは庶子であって、実の子ではありません。（ヘブライ人への手紙12：7～8）

3:19(01)	εγω	エゴウ	私は	人称代名詞・一人称・主格・単数
3:19(02)	οσους	オスース	誰でも～者	相関代名詞・対格・複数・男性
3:19(03)	εαν	エアン	もし～なら	条件接続詞
3:19(04)	φιλω	フィロウ	[私は]愛する	動詞・現在・能動・仮定・一人称・単数
3:19(05)	ελεγχω	エレンコウ	[私は]叱ります	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
3:19(06)	και	カイ	そして	接続詞
3:19(07)	παιδευω	パイデュオウ	[私は]鍛えます	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
3:19(08)	ζηλευε	ゼリリュエ	[あなたがた]熱心でありなさい	動詞・現在・能動・命令・二人称・単数
3:19(09)	ουν	ウン	だから	接続詞
3:19(10)	και	カイ	そして	接続詞
3:19(11)	μετανοησον	メタノエイソン	[あなたがた]悔い改めなさい	動詞・アオリスト・能動・命令・二人称・単数

【参考】 ヘブライ人への手紙 12:10～12

肉の父はしばらくの間、自分の思うままに鍛えてくれましたが、霊の父は私たちの益となるように、御自分の神聖にあずからせる目的で私たちを鍛えられるのです。およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。だから、萎えた手と弱くなったひざをまっすぐにしなさい。

→千日(せんじつ)の稽古を鍛とし、万日(まんじつ)の稽古を錬とす。（『五輪書』宮本武蔵）

千日（→約3年）の稽古で技を習得し、万日の稽古でその技を練り上げる。一つの技を完全に自分のものにするには、ひたすら毎日繰り返し繰り返し稽古に励むしか道はない。

【参考】 ラオディキア、ヒエラポリス、コロサイの位置関係



出典(元図): Ferrell's Travel Blog

3:20 見よ、私は戸口に立って、~~扉を叩き~~叩いている。もし誰かが、~~だれか~~私の声を聞いて扉戸を開くならば、~~ける者があれば~~私は中に入って、その人者と共に食事をし（→親密な交流）、彼もまた、私と共に食事をするであろう。←**約束**



見よ私は戸の前に立って（戸を）叩いている。もし誰かが私の声を聞いて戸を開くならば、私は彼のところには行って彼といっしょに、彼は私といっしょに食事をするであろう。

▶イエス・キリストは、個々人（罪人）が蕩がまつわりついて、永い間閉じられたままの扉の「心のドアの取っ手」を回し、心のドアを開くよう、外からたたき続け、訴えておられる。

→参考：「世の光（The Light of the World）」ウィリアム・ホルマン・ハント（セント・ポール大聖堂）

→イエス・キリストとの親しい食事を個人的に楽しめるのは、私たち個々人が心のドアを開き、心の奥深くにイエス・キリストをお迎えし、深い、個人的な交わりを持ち続ける日々の生活の中にある。

→神は、神から最も遠く離れている者に対し、あらゆる機会を通し、あらゆる方法を用いて、その者たちを励まし、その者たちが神に近づき、神と共にいるための一歩を踏み出すようにと願っておられる。

3:20(01)	ἰδοὺ	イドゥー	[あなたは]見なさい	動詞・第二アオリスト・能動・命令・二人称・単数
3:20(02)	εσθῆκα	エステエイカ	[私は]立っています	動詞・完了・能動・叙実・一人称・単数
3:20(03)	ἐπὶ	エピ	～[に]向かって	前置詞
3:20(04)	τὴν	テイン	それに	定冠詞・対格・単数・女性
3:20(05)	θύραν	スラン	戸に	名詞・対格・単数・女性
3:20(06)	καὶ	カイ	そして	接続詞
3:20(07)	κρούω	クルーオウ	[私は]叩きます	動詞・現在・能動・叙実・一人称・単数
3:20(08)	εἰν	エアン	もし～なら	条件接続詞
3:20(09)	τις	ティス	誰でも	不定代名詞・主格・単数・男性
3:20(10)	ἀκουσῆ	アクーセイ	[彼は]聞こうとする	動詞・アオリスト・能動・仮定・三人称・単数
3:20(11)	τῆς	テイス	その	定冠詞・属格・単数・女性
3:20(12)	φωνῆς	フォウネイス	声の	名詞・属格・単数・女性
3:20(13)	μοῦ	ムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
3:20(14)	καὶ	カイ	そして	接続詞
3:20(15)	ἀνοιξῆ	アノイクセイ	[彼は]開こうとする	動詞・アオリスト・能動・仮定・三人称・単数
3:20(16)	τὴν	テイン	それを	定冠詞・対格・単数・女性
3:20(17)	θύραν	スラン	戸を	名詞・対格・単数・女性
3:20(18)	εἰσελευσομαι	エイセリユースマイ	[私は]入りましょう	動詞・未来・中間デポネント・叙実・一人称・単数
3:20(19)	πρὸς	プロス	～[に]向かって	前置詞
3:20(20)	αὐτον	アウトン	彼に	人称代名詞・対格・単数・男性
3:20(21)	καὶ	カイ	そして	接続詞
3:20(22)	δειπνήσω	デイブネイソウ	[私は]夕食をとりましょう	動詞・未来・能動・叙実・一人称・単数
3:20(23)	μετ	メト	～[の]側に共に	前置詞
3:20(24)	αὐτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性
3:20(25)	καὶ	カイ	そして	接続詞
3:20(26)	αὐτος	アウトス	彼は	人称代名詞・主格・単数・男性
3:20(27)	μετ	メト	～[の]側に共に	前置詞
3:20(28)	ἐμοῦ	エムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数

【参考】マタイによる福音書 24:32～33

いちじくの木から教えを学びなさい。枝が柔らかくなり、葉が伸びると、夏の近づいたことが分かる。それと同じように、あなたがたは、これらすべてのことを見たなら、人の子が戸口に近づいていると悟りなさい。

3:21 勝利を得る者 (→キリストの招きに応じ、心にイエス・キリストを迎える者) を、私は自分の座に共に着か座らせよう。 私が勝利しを得て、私の父と共にその玉座に着いたのと同じように。 ←**約束**
 →千年王国の約束

勝利者は、私は彼に私といっしょに私の玉座に座らせよう、私も勝利して私の父といっしょに彼の玉座に座ったように。

3:21(01)	ο	オ	それは	定冠詞・主格・単数・男性
3:21(02)	νικων	ニコウン	勝利を得る[者は]	動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性
3:21(03)	δωσω	ドオウソウ	[私は]与えましょう	動詞・未来・能動・叙実・一人称・単数
3:21(04)	αυτω	アウトオウ	彼に	人称代名詞・与格・単数・男性
3:21(05)	καθισαι	カティサイ	座ること	動詞・アオリスト・能動・不定詞
3:21(06)	μετ	メト	～[の]側に共に	前置詞
3:21(07)	εμου	エムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
3:21(08)	εν	エン	～[に]において	前置詞
3:21(09)	τω	トオウ	それに	定冠詞・与格・単数・男性
3:21(10)	θρονω	スロノウ	玉座に	名詞・与格・単数・男性
3:21(11)	μου	ムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
3:21(12)	ως	オウス	～ように	副詞
3:21(13)	καγω	カゴウ	また私が	人称代名詞・一人称・主格・単数・修飾形
3:21(14)	ενικησα	エニケイサ	[私が]打ち勝った	動詞・アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
3:21(15)	και	カイ	そして	接続詞
3:21(16)	εκαθισα	エカシサ	[私が]座った	動詞・アオリスト・能動・叙実・一人称・単数
3:21(17)	μετα	メタ	～[の]側に共に	前置詞
3:21(18)	του	トゥー	その	定冠詞・属格・単数・男性
3:21(19)	πατρος	パトロス	父の	名詞・属格・単数・男性
3:21(20)	μου	ムー	私の	人称代名詞・一人称・属格・単数
3:21(21)	εν	エン	～[に]において	前置詞
3:21(22)	τω	トオウ	それに	定冠詞・与格・単数・男性
3:21(23)	θρονω	スロノウ	玉座に	名詞・与格・単数・男性
3:21(24)	αυτου	アウトウー	彼の	人称代名詞・属格・単数・男性

3:22 (聞く、聞かないは自由だが) 耳のある者は、霊が諸教会に告げることが聞かぬがよい (→聖霊に耳を傾けよと、すべての教会に向けて語られている)。』』 ←**約束**

耳のある者は御霊が諸教会に何と言っているかを聞け』。

▶ (1:17) ~ (3:22) →イエス・キリストが語った言葉部分

3:22(01)	ο	オ	それは	定冠詞・主格・単数・男性
3:22(02)	εχων	エコウン	持つ[者は]	動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性
3:22(03)	ους	ウース	(聞く)耳を	名詞・対格・単数・中性
3:22(04)	ακουσατω	アクーサトオウ	[彼は]聞きなさい	動詞・アオリスト・能動・命令・三人称・単数
3:22(05)	τι	ティ	何を～か?	疑問代名詞・対格・単数・中性
3:22(06)	το	ト	それが	定冠詞・主格・単数・中性
3:22(07)	πνευμα	プニューマ	霊が	名詞・主格・単数・中性
3:22(08)	λεγει	レゲイ	[それが]告げる	動詞・現在・能動・叙実・三人称・単数
3:22(09)	ταις	タイス	それらに	定冠詞・与格・複数・女性
3:22(10)	εκκλησιαις	エックレイシアイス	諸教会に	名詞・与格・複数・女性

⑦七つの教会は、先に進むにつれて墮落が進行しているが、それに伴い勝利者への約束も増加している。

【参考】七つの教会に宛てた手紙から見た今日の私たちへの教訓

〈1〉エフェソの教会にあてた手紙（黙示録2：1～7）から見た今日の私たちへの教訓

→歴史主義的観点：AD30/33～100年頃（イエスの昇天^{※1}からヨハネの時代まで）の初代教会（使徒時代の好ましい姿の教会）

☞愛を持つ（初めの頃の愛を持って）

☞悔い改めて初心に帰る（最初に光を見いだしたところを見よ、神に対する初めの頃の愛に立ち戻れ）
悔い改め（metanoia）、祈り、聖書を学ぶことを実行する。

〈2〉スミルナの教会にあてた手紙（黙示録2：8～11）から見た今日の私たちへの教訓

→歴史主義的観点：AD100年～313年頃（大きな迫害を受けた）の迫害に耐える教会を象徴

☞恐れない 愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。（ヨハネの手紙 一 4章18ab節）

私たちが神との関係を親密にしている限り、そして神に信頼している限り、神の力によってなし得ないことは何もない。事態がどんなに悪くても、神は私たちに目を留めていてくださいます。神に委ねる生き方こそ、これまであなたが夢にも考えていなかったような、一瞬一瞬を心から楽しむことができる生き方なのです。完全な愛は恐れを締め出す（Perfect love drives out fear.）ということです。神が私たちをどれほど愛しておられるかを知ったとき、神がその命を与えるほどに私たちを愛しておられることを知ったとき、その愛は恐れを締め出すのです。

〈3〉ペルガモンの教会にあてた手紙（黙示録2：12～17）から見た今日の私たちへの教訓

→歴史主義的観点：AD313年～538年頃（コンスタンティヌス帝がキリスト教徒になり外部からの迫害がなくなった）の教会（妥協する、寛容すぎる教会）を象徴

☞悔い改める（悔い改めよ）

☞妥協しない（真の妥協は攻撃的である）

妥協はすべての人を喜ばせるが、私たちを守ってくれない。妥協は、神に反する道である。

☞妥協は急激に訪れるものではない

世俗主義—宗教の影響から離れて世に迎合する—に押し流されやすい。

☞人は当初の標準を下げようとする傾向が常にある

教会は上の方向に行くことはなく、むしろ、教会を押し流そうとする力は常に下に向かって働くのが自然で、その流れに逆らうように努力しなければ、標準を下げる方向に流されることは避けられない。

〈4〉ティアティラの教会にあてた手紙（黙示録2：18～29）から見た今日の私たちへの教訓

→歴史主義的観点：AD538年～1565年頃（教会分裂の危機に陥った中世の暗黒時代）の教会を象徴

☞大きな問題が小さな場所で起こるし、大きな問題が小さな教会にも起こりうる

☞能力のある人も間違ふことがあり得る

☞福音（信仰）がすべて（今持っているもの—キリストの福音とその信仰—を固く守れ）

神の愛が示され、神によって私たちが受け入れられていることを示しているのが福音で、福音を中心としない教会は、たとえ健全な教理を持ち、活動的であっても、その教会は人を傷つけるようになる。

〈5〉サルディスの教会にあてた手紙（黙示録3：1～6）から見た今日の私たちへの教訓

→歴史主義的観点：AD1565年～1740年頃（プロテスタント・スコラスティズム、宗教改革の時代）の教会

☞生きているのは名ばかりで、実は死んでいる状態になり得る（目を覚ませ）

私たちは時々「燃え尽き症候群」になることがあります。多くのクリスチャンはその心は正しい場所にあり、正しいことをしたいと願うのですが、実際はそれを実行できないのです。信仰に喜びが見いだせず、神に仕えることが重荷になります。心の奥深くにあった光が消えてしまうのです。燃え尽き症候群を呈するようになったら、先ず変わりたいと心から願うことです。命を再び求めて踏み出すことです。そのわずかな気持ちを固く持ち、大切にし、その気持ちを神に献げ、祈るのです。そして、過去に自分が光を見た場所、輝かしい経験に戻るのです。

☞悔い改める（悔い改めよ）

〈6〉フィラデルフィアの教会にあてた手紙（黙示録3：7～13）から見た今日の私たちへの教訓
 →歴史主義的観点：AD1740年～1844年頃（福音が全世界に広められた大信仰復興時代、大宣教時代）の教会：リバイバルが起こり、宣教・伝道に忠実であった。
 ☞摂理（≡神の永遠の計画・恵み）の機会にはたとえ力が弱くても、必ず訪れる
 ☞摂理は災いや迫害や嘲笑の中から棘を取り除いてくださる
 ☞イエス・キリストが天の宝庫を支配しておられる

〈7〉ラオディキアの教会にあてた手紙（黙示録3：14～22）から見た今日の私たちへの教訓
 →歴史主義的観点：地球歴史の最終時代（イエスの再臨直前）の霊的に最も問題を抱えた現在の教会
 ☞基本に立ち帰る（返る）（黙示録3：18）
 ☞義認（火で精錬された金を買う／白い衣を着る／見えるようになるために目薬を買う）
 ラオディキアの裕福な人々は、恐らく金の装飾品や高価な衣服を持っていたであろう。彼らは金の装飾品を「火で精錬された」金に交換すべきであった。それは、聖霊の恵み、彼らを赦すために命を与えたキリストの血、または白い衣（キリストにより得られる内面的な清さ）を着た霊的な生き方である。イエスの真理の目薬を塗ることで、霊的な目が開かれた生き方である。
 →人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされる（→義認）のです。（ローマの信徒への手紙3：23～24）
 ☞悔い改める（悔い改めよ）
 私は愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。（3：19）

※1：イエスの昇天＝AD33年4月3日金曜日（ユリウス暦）→㊦本書著者の見解である。
 1582年、ローマ教皇グレゴリウス13世は暦法の改訂（改暦）を命じ、「グレゴリオ暦」が制定、施行（誤差解消のため、10月4日の翌日を10月15日と定めた）。

参考：ジョン・ポーリーン博士の「黙示録講義」第1巻（全4巻）山地 明 訳 ISBN978-4-89222-402-7

★聖書が記す「悔い改め」とは・・・

悔い改め 聖書の58か所（62個）に「悔い改め」についての記述がある
 →ヨブ記1か所、イザヤ2か所、エゼキエル3か所、マタイ8か所、マルコ3か所、ルカ13か所、使徒10か所、ローマ1か所、IIコリ3か所、IIテモ1か所、ヘブライ2か所、IIペトロ1か所、黙示録10か所

悔い改め repentance=metanoia（ギリシア語）
 「metaメタ」は「～の上に、～の後で」、「noiaノイア」は「ヌース」（思い）に由来し、「マインド」の意。
 ∴「metanoiaメタノイア」＝人の思いや志に起こる変化⇒思いの変化⇒聖書では「悔い改め」と訳す。

- ①神が命じられるもの（使徒17：30）
- ②神の憐みにより導かれるもの（ローマ2：4）
- ③悲しみの気持ち（神の御心に適ったもの）からくるもの（IIコリ7：9、10）

↓
 自分を退け(NKJ:abhor ひどく嫌う、NI:despise ^{さげす}蔑む)、悔い改める。（ヨブ42：6b）

- ↓
- 悔い改める
- ①恵みの御業によって贖われる（イザヤ1：27）
 - ②いやされる（イザヤ6：10）
 - ③滅びから免れる（ルカ13：3、13：5）
 - ④罪が赦される（ルカ17：3、17：4、24：47）
 - ⑤罪が消し去られる（使徒3：19）
 - ⑥取り消されることのない救いに通じる（IIコリ7：10）